

「第2次健康おたる21」中間評価 アンケート調査報告書（高校生）

平成29年3月

小樽市

目 次

I 調査の概要	
i) 調査の目的	2
ii) 調査対象及び調査方法等	2
iii) 調査の項目	2
iv) 回収結果	2
v) 本報告書の見方について	2
II 調査の結果	
i) 回答者の属性について	3
ii) 食生活について	3
iii) たばこ・アルコールに関する摂取実態と知識について	8
iv) エイズ（後天性免疫不全症候群）及び妊娠や避妊に関する知識について	8

資料

依頼文（高等学校）

依頼文（高校生）

アンケート

I 調査の概要

i)調査の目的

本調査は、市民の健康に関する意識及び行動を把握し、既存資料とあわせて次期小樽市健康増進計画に反映させることを目的とする。

ii)調査対象及び調査方法等

調査対象	小樽市内の高校に在学中の男女
サンプル数	市内 10 校
調査方法	各高校に依頼し、回収
調査期間	平成 28 年 6 月 14 日～30 日

iii)調査の項目

回答者の属性について（5問）

食生活の実態と栄養に関する知識について（11問）

たばこ・アルコールに関する摂取実態と知識について（2問）

性感染症に関する知識について（2問）

iv)回収結果

配布数	327
回収数	326 (99.7%)
有効回収数（率）	319 (97.6%)

回収状況表

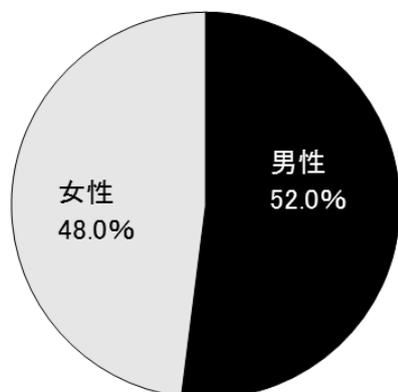
		配布数	有効回収数	有効回収率
合計数		327	319	97.6%
性別	男性	****	166	****
	女性	****	153	****

v)本報告書の見方について

- 比率は全て百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。
- 基数となるべき実数は、n=〇〇〇として掲載し、各比率はnを100として算出した。
- 設問の中で、3つまで選択する問については、4つ以上選択した回答については無効とした。
- 男女間でのカイ二乗検定を行い、P<0.01を有意差あり、P<0.05を傾向ありとした。
- その他の回答については、自由記載となっており、記載どおりに掲載した。

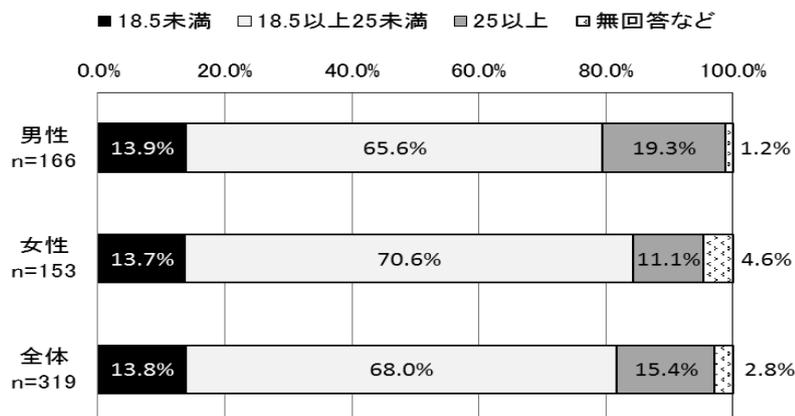
II 調査の結果

i) 回答者の属性について



アンケートに回答した方の性別は、男性 166 人(52.0%)、女性 153 人(48.0%)であった。
平均学年 2.12 年生

BMI について

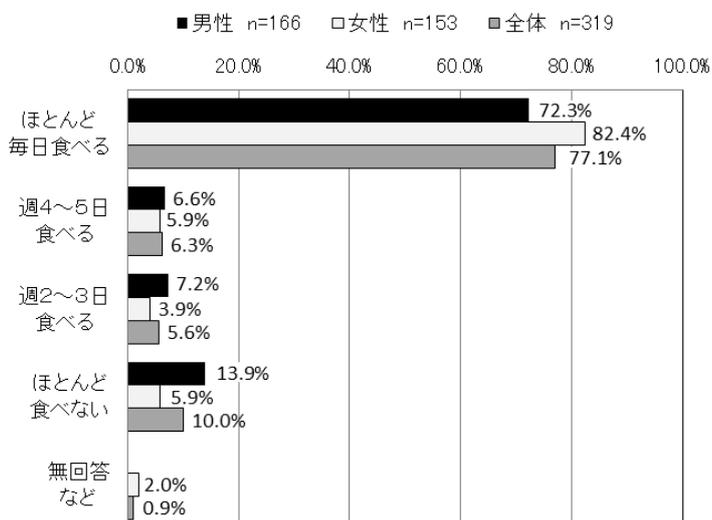


「太っている」、「やせている」の自己申告について男女間で有意な差はなかった。
($P > 0.05$)

ii) 食生活について

問1 朝食の摂取状況について

「あなたは、ふだん朝食を食べますか。該当する番号を1つ選んで○印をつけてください。」



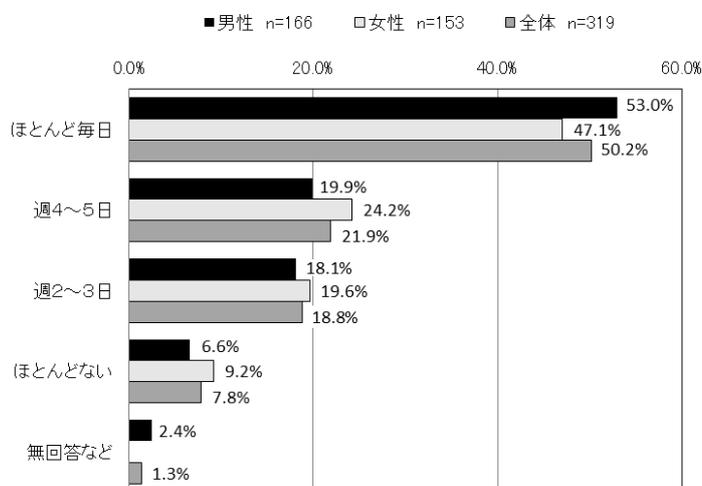
朝食の摂取状況については、習慣的に朝食を「ほとんど毎日食べる」方の割合は、全体では 77.1%、男性では 72.3%、女性では 82.4%であった。

習慣的に朝食を「ほとんど食べない」方の割合は、全体では 10.0%、男性では 13.9%、女性では 5.9%であり、男子生徒の欠食が多い傾向にあった。

($P < 0.05$)

問2 食事のバランスについて

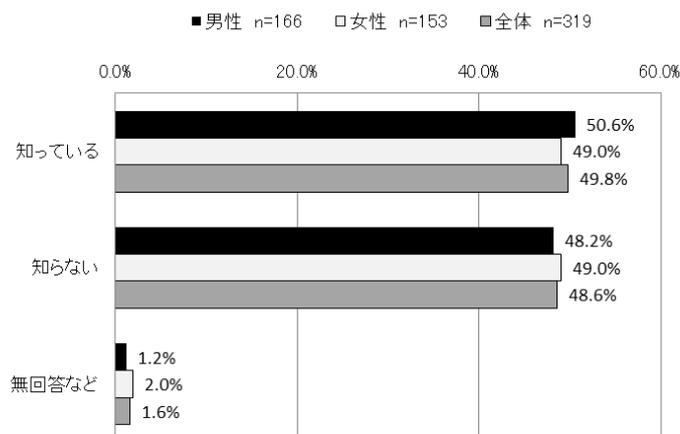
「あなたは、1日に2回以上、主食、主菜、副菜の全てをそろえて食事をするのが、週に何日ありますか。該当する番号を1つ選んで○印をつけてください。」



主食、主菜、副菜を組み合わせた食事を1日2回以上「ほとんど毎日」食べている方の割合は、全体では50.2%、男性では53.0%、女性では47.1%であった。

問3 食事バランスガイドの認知度について

「あなたは、「食事バランスガイド」について知っていますか。」

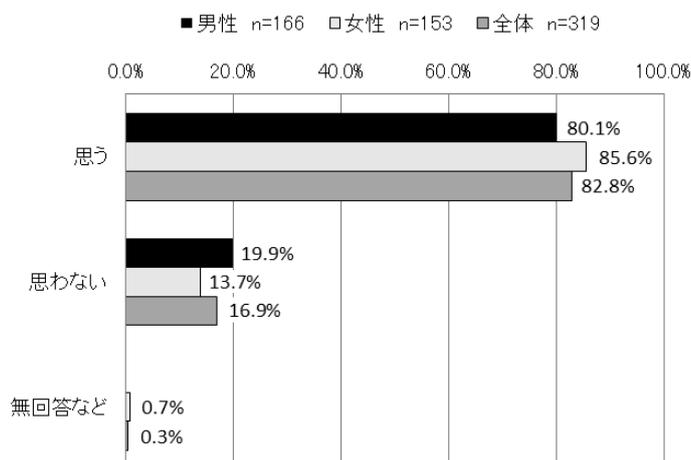


食事バランスガイドを「知っている」方の割合は、全体で49.8%、男性が50.6%、女性が49.0%であった。

食事バランスガイドを「知っている」と答えた方は、男女間で有意な差はなかった。
($P > 0.05$)

問4 食事バランスガイドの活用について

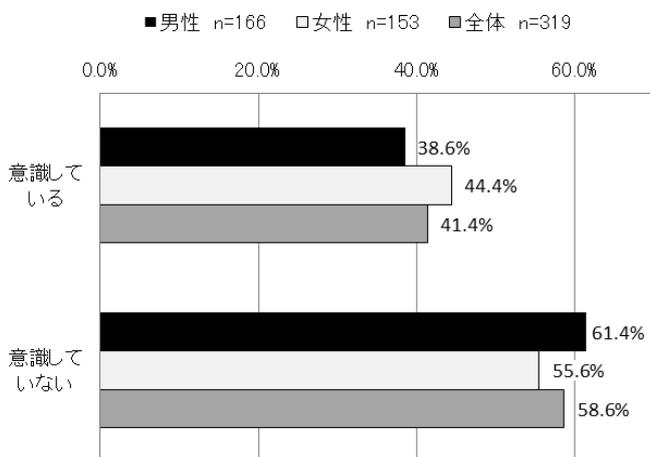
「あなたは「食事バランスガイド」を参考にしたいと思いますか。」



食事バランスガイドを参考にしたいと思います「思う」と回答した方が全体で82.8%、男性が80.1%、女性が85.6%であった。

問5 食生活で意識していることについて

「あなたは、生活習慣病の予防や改善のために、**い**だんから食生活に気をつけるように意識していますか。」

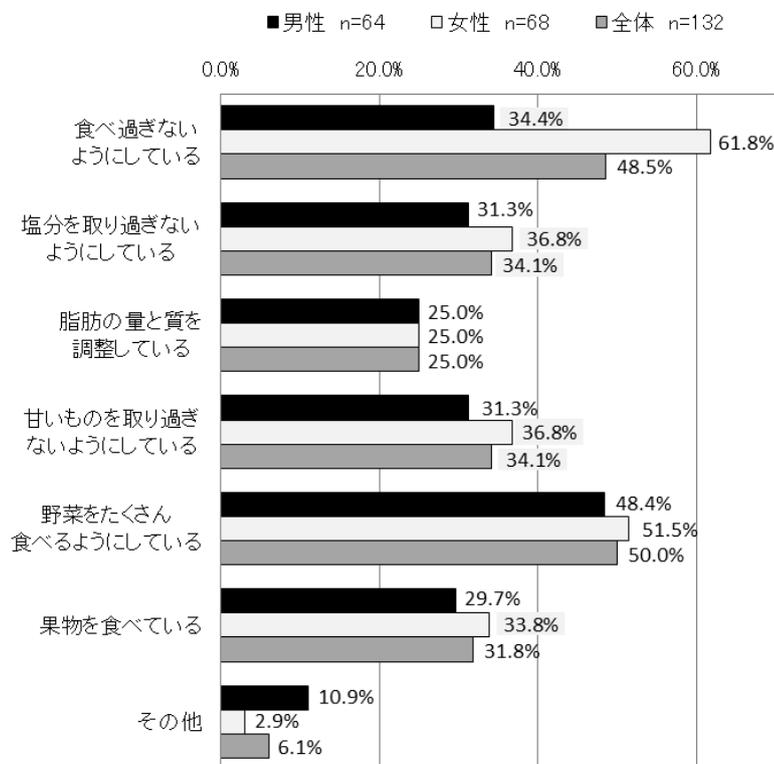


食生活を「意識している」方の割合は、全体で41.4%、男性38.6%、女性44.4%であった。

食生活を「意識している」割合について、男女間で有意な差はなかった。
($P > 0.05$)

問6 食生活で意識していることについて

「問5で「1」を選んだ方にお尋ねします。それはどのようなことですか。該当する番号を全て選んで○印をつけてください。」



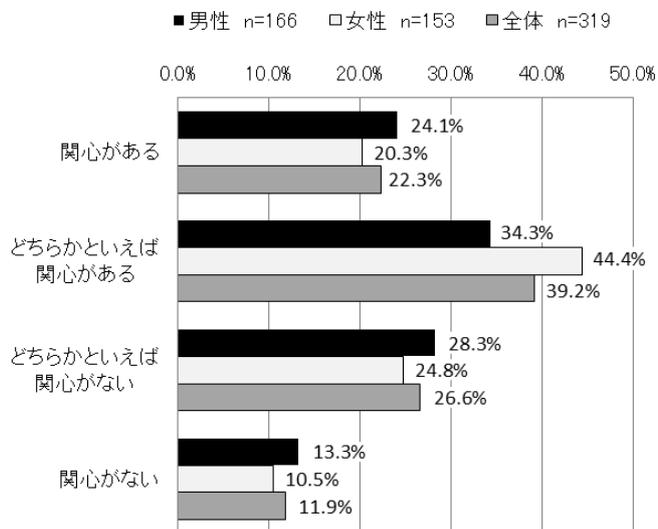
食生活で気をつけていることは、全体では、「野菜をたくさん食べるようにしている」が50.0%、「食べ過ぎないようにしている」が48.5%で高かった。

「野菜をたくさん食べるようにしている」と答えた方の男女差はなかった。
($P > 0.05$)

「食べ過ぎないようにしている」と答えた方は男性より女性のほうが多い。
($P < 0.01$)

問7 食育の関心度について

「あなたは、「食育」について関心がありますか。該当する番号を1つ選んで○印をつけてください。」

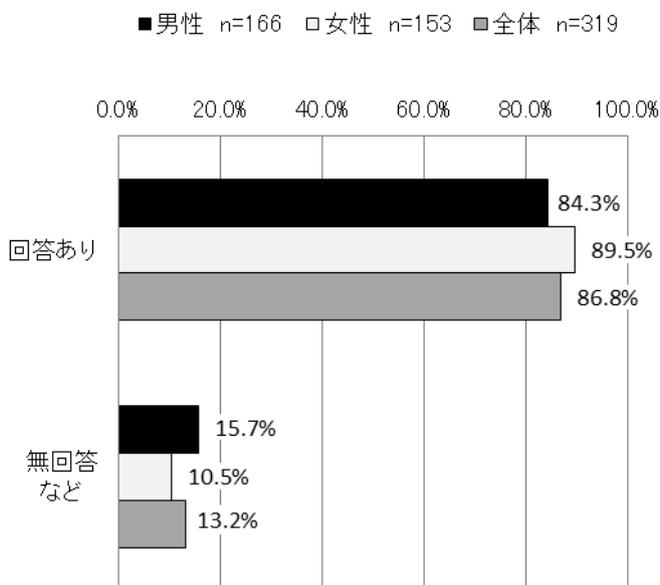


食育について「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」は全体で 61.5%、男性は 58.4%、女性は 64.7%だった。

食育に関心がある人の割合において、男女間で有意な差は見られなかった。(P>0.05)

問8 郷土料理について

「あなたが知っている小樽を代表とする食品(菓子類、飲み物を含む)郷土料理は、何ですか。」



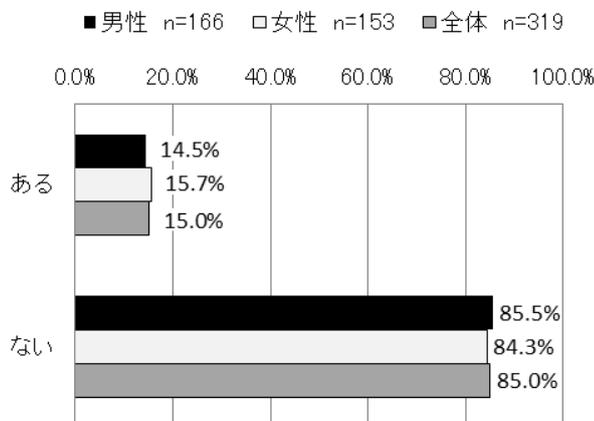
小樽を代表とする食品(菓子類、飲み物を含む)郷土料理を知っている方の割合は、全体で 86.8%、男性 84.3%、女性 89.5%であった。

(回答内容(自由記載))

- ・かまぼこ (103 件)
- ・菓子類 (89 件)
- ・海産物 (75 件)
- ・小樽以外の食品・料理 (51 件)
- ・あんかけ焼きそば (47 件)
- ・寿司 (38 件)
- ・地酒・ワイン・水 (29 件)
- ・魚介類を使った料理 (13 件)
- ・若鶏半身揚げ・ザンギ (12 件)

問9 「食」に関するイベントの参加について

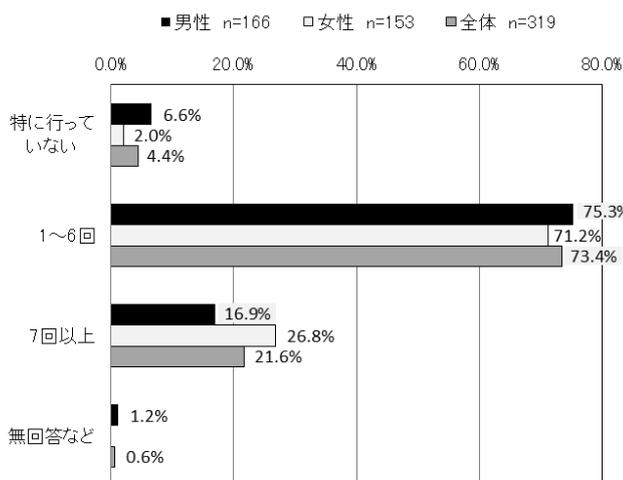
「あなたは、小樽市内で開催された「食」に関するイベントや地域の行事に参加したことがありますか。」



小樽市内で開催された「食」に関するイベントや地域の行事に参加したことが「ある」方の割合は、全体で15.0%、男性14.5%、女性15.7%だった。

問10 行事食について

「あなたの御家庭ではどのような行事食を行っていますか。該当する番号を全て選んで○印をつけてください。(行事食は手作りでなくても構いません)」

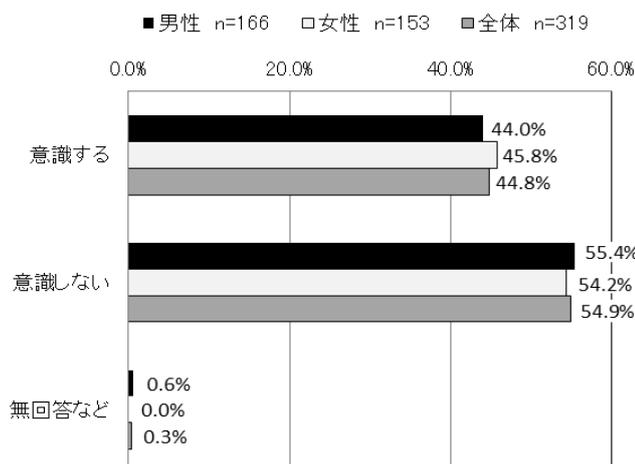


御家庭で行事食を行っている回数は1~6回行っている方が多く、全体で73.4%、男性で75.3%、女性で71.2%であった。

行事食を行っている回数は平均すると全体で4.2回であった。

問11 食材を選ぶ際の基準について

「あなたは、食材を選ぶときに栄養成分表示や産地等を意識しますか。」



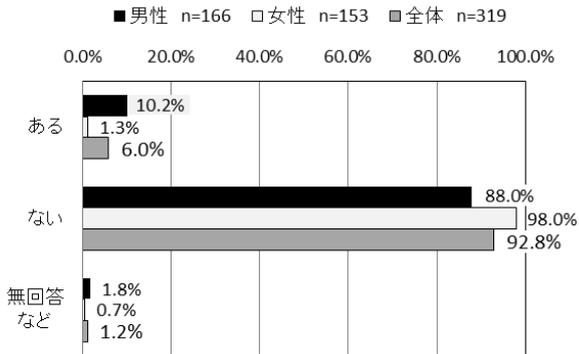
食材を選ぶときに栄養成分表示や産地等を「意識している」方の割合は、全体で44.8%、男性44.0%、女性45.8%であった。

栄養成分表示や産地等を意識する人の割合において、男女間で有意な差は見られなかった。(P>0.05)

iii) たばこ・アルコールに関する摂取実態と知識について

問12 タバコの喫煙経験について

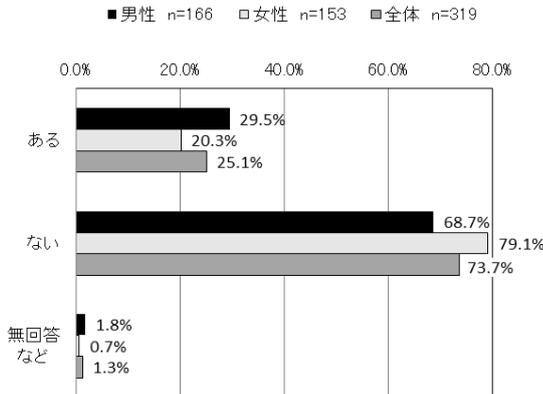
「あなたは、これまでにたばこを吸ったことがありますか。」



男性と女性では、男性で喫煙経験が「ある」と回答している方が多かった。
($P < 0.01$)

問13 飲酒経験について

「あなたは、これまでにお酒を飲んだことがありますか。」



飲酒経験について、全体の25.1%が「ある」と回答していた。飲酒経験について男女差はなかった。
($P > 0.05$)

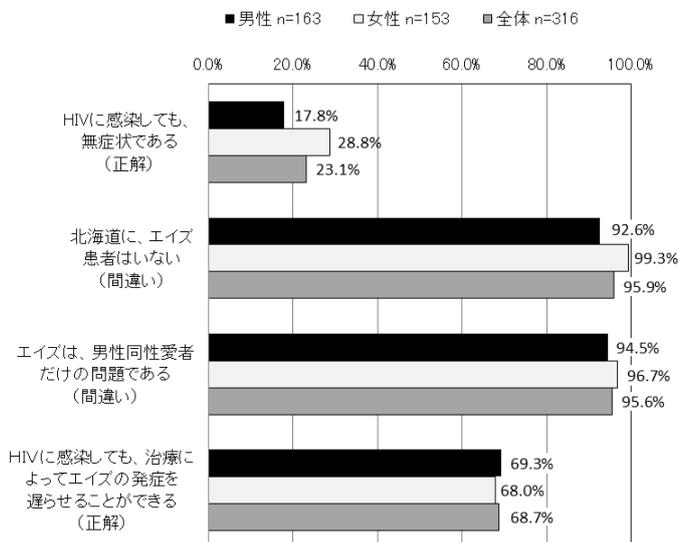
飲酒経験が「ある」と回答した方は、喫煙経験が「ある」と回答した方より多かった。
($P < 0.01$)

iv) エイズ(後天性免疫不全症候群)及び妊娠や避妊に関する知識について

問14 エイズに関する知識について

「エイズについて、あなたが、正しいと思うものをすべて選んで○印をつけてください。」

<正解率>

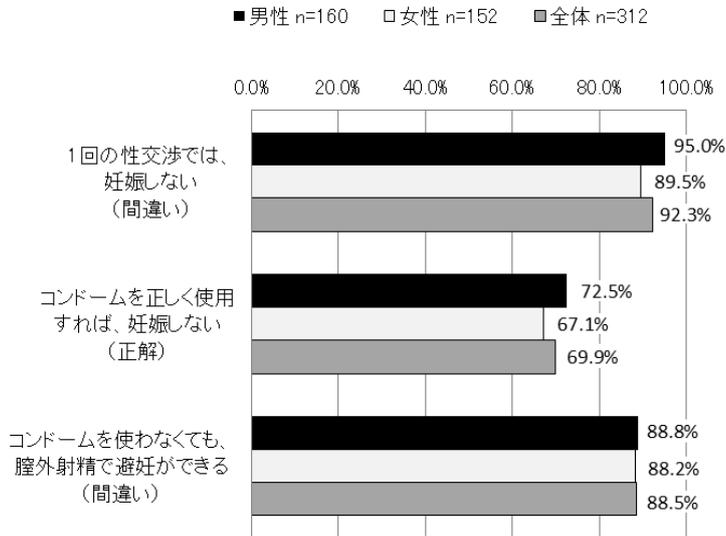


「HIVに感染しても、無症状である」の正解率は低く、男性が低い傾向にあった。
($P < 0.05$)

問 15 妊娠や避妊の知識について

「妊娠や避妊について、あなたが正しいと思うものをすべて選んで○印をつけてください。」

<正解率>



「コンドームを正しく使用すれば、妊娠しない」は、約3割が誤った回答をしていた。